

問1 7世紀後半、天智天皇が亡くなった後に発生した「壬申の乱」の直接的な原因として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 愛知県公立入試 類似)

1. 天皇の死後、その皇位継承をめぐって親族や有力な一族の間で生じた対立	2. 大陸との国交を閉ざそうとする勢力と、積極的に文化を取り入れようとする勢力の外交方針の対立	3. 重い税や労役を課しながらも人々を救おうとしない役人の政治に対し、農民が結集して抵抗したこと	4. 地方で武士団が組織できるほどに成長し、土地の支配権をめぐって朝廷に反旗を翻したこと
--------------------------------------	---	--	--

問2 飛鳥時代、天皇を中心とした中央集権国家の確立を目指す過程で作成された、わが国で最初とされる全国的な規模の戸籍を何といいますか。 (2022年 香川県公立入試 類似)

1. 平安京への遷都	2. 庚午年籍	3. 壬申の乱	4. 十七条の憲法
------------	---------	---------	-----------

問3 飛鳥時代に建立され、現存する世界最古の木造建築物を含むことで知られる、奈良県にある寺院を次の中から選びなさい。 (2020年 静岡県公立入試 類似)

1. 法隆寺	2. 唐招提寺	3. 東大寺	4. 平等院
--------	---------	--------	--------

問4 聖徳太子が建立した法隆寺に代表される、日本で最初の本格的な仏教文化について、その名称として正しいものを選びなさい。 (2024年 三重県公立入試 類似)

1. 東山文化	2. 飛鳥文化	3. 国風文化	4. 天平文化
---------	---------	---------	---------

問5 7世紀後半の東アジア情勢と、それに対する日本の対応について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 福島県公立入試 類似)

1. 白村江の戦いの直前、唐の侵攻を予見して太宰府の北側に水城を築き、西日本の諸豪族から徴兵した「防人」によって守備を固めた。	2. 白村江の戦いで敗れた後、新羅と同盟を結ぶことで唐の侵攻を防ごうとし、その外交交渉の拠点として太宰府の周囲に水城を設けた。	3. 白村江の戦いに勝利した後、朝鮮半島への影響力を強めるために太宰府を設置し、大陸からの使者を迎えるための施設として「水城」を建設した。	4. 白村江の戦いで敗れた後、太宰府を守るために水城を築き、さらに九州北岸の守備のために東国から兵士を集めた「防人」を配置した。
---	---	---	--

問6 仏教の伝来によって寺院建築が本格化した際、大規模な木材の需要が発生しました。近畿地方において巨木が枯渇し、森林の伐採規制が行われる要因の一つともなった、世界最古の木造建築を持つ寺院について述べた文として正しいものはどれか。 (2024年 長野県公立入試 類似)

1. 聖徳太子によって建立され、飛鳥時代の文化を現代に伝えている。	2. 鎌倉時代、北条氏が中国から僧を招いて禅宗を広めるために建立した。	3. 最澄が比叡山に開き、平安時代を通じて新しい仏教の拠点となった。	4. 聖武天皇の命により、仏教の力で国を守るために全国に建てられた。
-----------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------

問7 日本の歴史上の出来事を整理した略年表において、古墳時代の大和政権による統一が進んだ後、平安時代の荘園の形成よりも前の時期に位置づけられる出来事として正しいものはどれですか。 (2018年 静岡県公立入試 類似)

1. 平清盛が武士として初めて太政大臣の地位に就いた。	2. 北条泰時によって武士の慣習をまとめた御成敗式目が定められた。	3. 天智天皇の死後の後継争いに勝利した天武天皇が即位した。	4. 鎖国の体制が固まり、長崎でのみオランダや中国との貿易が行われた。
-----------------------------	-----------------------------------	--------------------------------	-------------------------------------

問8 6世紀後半から7世紀前半にかけて、朝鮮半島や中国大陸から伝わった仏教の影響を強く受け、飛鳥地方を中心に花開いた日本最初の本格的な仏教文化を何というか答えなさい。 (2020年 徳島県公立入試 類似)

1. 飛鳥文化	2. 禅宗文化	3. 国風文化	4. 天平文化
---------	---------	---------	---------

問9 672年に起こった壬申の乱のあとの政治的な変化について、当時の状況を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2025年 愛知県公立入試 類似)

1. 乱を平定するために武士の力を借りた朝廷は、これを機に武士の政治的な実力を認めるようになった。	2. 勝利した天武天皇が、豪族の力を抑えて天皇の権威を高め、律令国家の建設を強力に推進した。	3. 乱はわずか一日で鎮圧されたため、それまでの豪族中心の政治体制に大きな変化は生じなかった。	4. 勝利した側が唐の制度をすべて廃止し、日本独自の貴族による合議制を確立させた。
---	--	---	---

問10 7世紀、大化の改新を推進した中大兄皇子は、友好関係にあった百済を復興させるために朝鮮半島へ大軍を派遣しましたが、ある連合軍に大敗を喫しました。このとき、日本（倭）が戦った相手である連合軍の正しい組み合わせを選びなさい。 (2016年 愛媛県公立入試 類似)

1. 唐・新羅の連合軍	2. 元・高麗の連合軍	3. 唐・高句麗の連合軍	4. 隋・新羅の連合軍
-------------	-------------	--------------	-------------

問11 飛鳥時代に建立された法隆寺とその文化について、当時の政治や社会背景を説明した文として最も適切なものを次のうちから選びなさい。 (2021年 大阪府公立入試 類似)

1. 最澄が唐から持ち帰った新しい仏教を広めるため、比叡山に修行の場として建立した。	2. 蘇我氏が天皇をしのぐ権力を示すため、日本で最初の大寺院として大阪の地に建立した。	3. 聖徳太子が仏教の力で国を治めようと考え、大陸の技術を取り入れて建立した。	4. 聖武天皇が国内の疫病や政情不安を鎮めるため、全国に国分寺を建てる一環として建立した。
--	---	---	---

問12 聖徳太子が活躍した飛鳥時代初期の文化や制度に関する記述として、正しいものはどれですか。 (2026年 奈良県公立入試 類似)

1. 漢文体による十七条の憲法に加え、律（刑罰）と令（政治規定）が同時に整備された。	2. 世界最古の木造建築群とされる法隆寺が建立され、仏教を中心とする文化が栄えた。	3. 武士の心得を記した成文法が作られ、各地の守護や地頭がこれに従って土地を統治した。	4. 個人の家柄を重視し、氏姓制度に基づいて特定の氏族が世襲で高い官職を独占した。
--	---	---	---

問13 インドで興った宗教が、中央アジアのシルクロード沿いに位置する敦煌などの石窟寺院を経て中国へ伝わり、さらに朝鮮半島を通して日本へもたらされた歴史的背景があります。この宗教の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2016年 京都府公立入試 類似)

1. キリスト教	2. 仏教	3. 儒教	4. イスラム教
----------	-------	-------	----------

問14 645年から始まった大化の改新において示された、それまで有力な豪族が私有していた土地や人民を、国家（天皇）が直接支配する体制へと改める方針を何といいますか。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)

1. 公地公民	2. 版籍奉還	3. 墾田永年私財法	4. 地租改正
---------	---------	------------	---------

答え合わせ・解説

問1	答え 1 天皇の死後、その皇位継承をめぐって親族や有力な一族の間で生じた対立	天智天皇の死後、その弟である大海人皇子と、天皇の子である大友皇子が、次の皇位をめぐって争ったことがこの乱の本質です。当時はまだ皇位継承のルールが明確に確立されておらず、一族間で深刻な対立を招く背景がありました。この乱に勝利した大海人皇子は天武天皇として即位し、天皇中心の中央集権体制をさらに強化していくことになりました。他の選択肢にある武士の台頭や農民一揆などは、より後世の時代に見られる特徴です。
問2	答え 2 庚午年籍	飛鳥時代、天武天皇の時期に作成が開始されたとされるこの戸籍は、国民一人ひとりを把握するための重要な台帳となりました。これにより、それまで各地域の豪族が支配していた民を、国家が直接管理する仕組みが整えられ始めました。
問3	答え 1 法隆寺	聖徳太子（厩戸王）によって建立されたと伝えられるこの寺院は、7世紀の建築様式を今に伝える貴重な遺構です。1993年には、日本で初めての世界文化遺産の一つとして登録されました。同時期に建立された他の寺院との違いとして、世界最古の木造建築が現存している点が最大の特徴です。
問4	答え 2 飛鳥文化	7世紀前半、聖徳太子が政治を執り行った時代を中心に栄えた文化を飛鳥文化と呼びます。法隆寺の建築や仏像などには、中国の南北朝時代の文化や、さらに西方のインドやギリシャの影響も見て取ることができます。
問5	答え 4 白村江の戦いで敗れた後、太宰府を守るために水城を築き、さらに九州北岸の守備のために東国から兵士を集めた「防人」を配置した。	663年の白村江の戦いでの大敗を受け、天智天皇を中心とする政権は対外的な危機感から国防を急ピッチで進めました。太宰府を守るための「水城」の建設だけでなく、対馬や杵岐、北九州沿岸の警備のために「防人（さきもり）」を配置しました。防人は主に東国から徴兵された兵士たちであり、彼らの負担や望郷の念は『万葉集』などの歌にも残されています。
問6	答え 1 聖徳太子によって建立され、飛鳥時代の文化を現代に伝えている。	飛鳥時代に建立された法隆寺は、現存する世界最古の木造建築物です。仏教伝来によりそれまでの縦穴住居などとは異なる巨大な木造建築（寺院）が造られるようになり、建築用木材として多くの巨木が切り出されました。その結果、周辺地域での森林資源の枯渇を招き、後の時代における資源管理の重要性が認識されるきっかけにもなりました。
問7	答え 3 天智天皇の死後の後継争いに勝利した天武天皇が即位した。	日本の歴史の大きな流れにおいて、飛鳥時代は古墳時代と奈良・平安時代の間に位置します。この時期に起きた重要な出来事が壬申の乱であり、その結果としての天武天皇の即位です。略年表の順序をたどると、古墳時代の統一、飛鳥時代の天武天皇即位、平安時代の荘園形成や平清盛の台頭という流れになります。平清盛や御成敗式目、鎖国などはそれよりも後の時代の出来事です。
問8	答え 1 飛鳥文化	朝鮮半島（百済など）から仏教が伝来し、聖徳太子や蘇我氏の保護を受けて発展した日本最古の仏教文化です。法隆寺の西院伽藍や、広隆寺の弥勒菩薩像などにその特徴を見ることができます。同時期の中国（南北朝・隋）や朝鮮半島の文化の影響を色濃く反映しているのが特徴です。
問9	答え 2 勝利した天武天皇が、豪族の力を抑えて天皇の権威を高め、律令国家の建設を強力に推進した。	壬申の乱で勝利して即位した天武天皇は、それまでの豪族たちが政治の実権を握る体制を改め、天皇に権力を集中させました。これにより、天皇を中心とした中央集権的な法制度に基づく「律令国家」の形成が加速することとなりました。武士が政治的な力を強めるのは平安時代末期以降のことです。
問10	答え 1 唐・新羅の連合軍	663年、日本は滅亡した百済を支援するために朝鮮半島へ出兵しましたが、白村江（はくすきのえ）の戦いで唐と新羅の連合軍に大敗しました。この敗北は、その後の日本の国内体制の整備や国防の強化に大きな影響を与えました。
問11	答え 3 聖徳太子が仏教の力で国を治めようと考え、大陸の技術を取り入れて建立した。	飛鳥時代は、聖徳太子や蘇我氏を中心となって、大陸の進んだ制度や仏教を積極的に取り入れた時代です。法隆寺の建立はその象徴であり、仏教を中心とした国づくりを目指す政治的背景がありました。聖武天皇による国家鎮護は奈良時代の「天平文化」、最澄による活動は平安時代の「弘仁・貞観文化」の説明です。
問12	答え 2 世界最古の木造建築群とされる法隆寺が建立され、仏教を中心とする文化が栄えた。	聖徳太子は十七条の憲法の制定だけでなく、推古天皇の摂政として仏教を厚く保護しました。その象徴が七世紀初めに建立された法隆寺であり、当時の進んだ建築技術や仏教文化を今に伝えています。太子は、家柄に縛られない人材登用を目指す「冠位十二階」なども定めており、それまでの氏姓制度（家柄重視）による政治からの転換を図りました。律令が本格的に整うのは後の時代になります。
問13	答え 2 仏教	紀元前5世紀ごろにインドでシャカ（釈迦）によって開かれたこの宗教は、中央アジアのオアシスの道（シルクロード）を経由して、1世紀ごろには中国の漢に伝わりました。道中の敦煌などの要所には、信仰の拠点として大規模な石窟寺院が造営されました。その後、朝鮮半島の百済などを通じて、6世紀に日本へ公式に伝えられました。
問14	答え 1 公地公民	大化の改新で出された「改新の詔（みことのり）」の第一条では、豪族が支配していた土地（田荘）や人民（部曲）を廃止し、すべてを国家のものとすることが宣言されました。これが公地公民の制であり、天皇を中心とする律令国家を目指すための重要な基盤となりました。